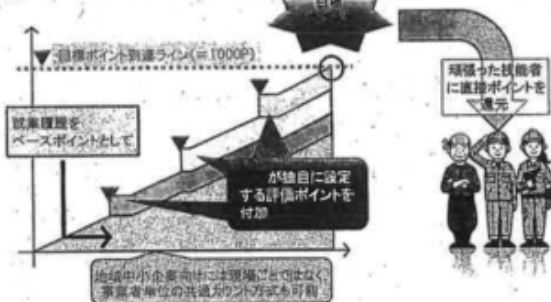


令和3年8月18日

建設通信新聞

## CCUS普及へ実証実験

元請独自のポイント付与スキーム



### 電子マネー還元で促進

カードタッチでポイント蓄積  
元請ごとの現場活動でも加算

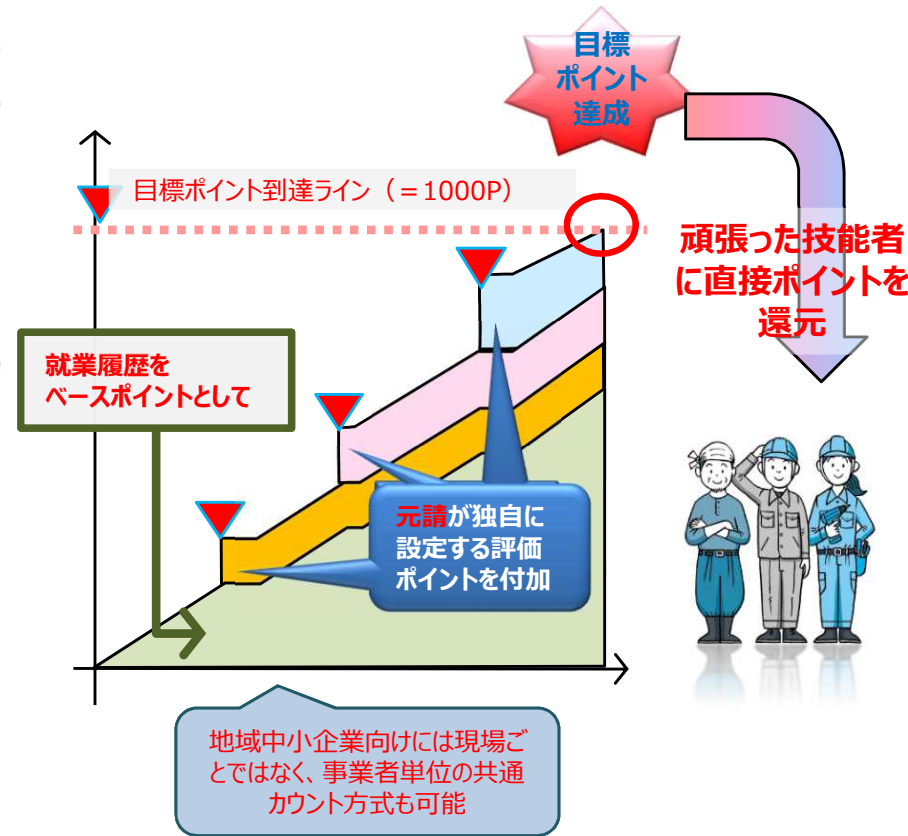
などを還元するイメージだ。9月からの初年度はポイント還元を10%に引き上げる。将来的には比較的短期の短い工事を要する地域中小企業への展開を前提とし、事業者単位で共通カウント方式も可能とする。

CCUSは登録技能者が60万人を突破するなど一定の普及状況だ。CCUSによる技能者の処遇改善はカードタッチが普及するまでの間だが、技能者にはその意義が直接的に感じられるという声が上がっており、先行するポイント制度を通じて技能者にカードタッチを習慣付けてもらうのが狙いだ。また、元請けにとっては安全や生産性向上の取り組みへの積極的な参加を促すことができればというメリットがある。

建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム（CCUS）の技能者への普及促進に向け、新たな実証実験を始める。CCUSで就業履歴を蓄積（カードタッチ）する技能者のモチベーションが直接的に上がるよう、それぞれの元請事業者が独自に設定するポイントプログラムに応じて、電子マネーが還元される仕組みを先行する。実証実験の第1号は9月1日から奥村組の神奈川県の工事事務所で開始する。

実証実験では、CCUSのネー（QUOカードpay）に交換できる。例えば、カードタッチ1日1回10分、安全衛生講習会への参加30分、合理化提案で50分などを加算していき、累計1000分をためると1000円相当の電子マネー

振興基金



頑張った技能者に直接ポイントを還元

地域中小企業向けには現場ごとではなく、事業者単位の共通カウント方式も可能